

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
第21回 会員総会

議案資料

2021年6月25日（金）

（15：00～16：30）

グランハート町田 レンタルルーム トマト

- 議 案 -

第1号議案	2020年度 事業報告書 (案)	…	1～13頁
第2号議案	2020年度 決算報告書 (案)	…	15～22頁
第3号議案	定款の一部変更 (案)	…	23頁

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

2020年度町田市介護人材開発センター事業実績報告書（案）

1 総括

町田市介護人材開発センター（以下、センター）は設立から9年となった。今年度は当初より「新型コロナウイルス」の拡大が懸念され、4月からは「緊急事態宣言」が発令され、各種事業の進行にも影響が出た。感染防止を第一に考え、5月から順次オンラインでの開催に切替え、研修や連絡会等ほとんどの事業をオンラインで実施した。市民や児童を対象とした事業は、参加人数に比較して広い会場を用意し、様々な感染防止策を講じて会場で開催することができたが、介護保険事業所や医療機関に勤務する講師の感染防止に配慮し、会場とオンラインでのハイブリット方式も取り入れて開催した。

よりわかりやすく、幅広くセンター事業を知っていただくためにホームページをリニューアルした。また、インターネットで迅速かつ幅広く求人求職情報を提供し、介護人材の確保につなげるために「まちけあジョブ」アプリ、迅速な行政からの情報伝達、介護事業所間の情報交換、また介護職同士のネットワークづくりを展開するため、スマートフォン上で使いやすい「まちけあトーク」のアプリを制作した。研修や連絡会、関係団体の情報をホームページやメールで提供するとともに、Facebook やinstagram等のSNS、タウン誌等の広告媒体の活用といった従来の情報発信から、Youtubeも活用し情報発信の幅を広げることができた。また、町田市の協力を得て町内会自治会掲示板、公共施設へのポスター掲示を通して市民への周知も継続してきた。

会員事業所には今年度より会費の値上げをお願いしたが、会員数は3月末時点で407事業所（昨年度末424事業所）、加入率は約74%（昨年度79%）となった。加入率を上げていくため、会員事業所の期待により一層応えていきたい。

財源の安定に向けては、新たな委託事業の受託や介護人材バンクの手数料収入の確保を目指して継続した取り組みを行っていきたい。

個別の事業については、計画書の事業番号に添って下記に報告する。

2 各種事業実績

(1) 人材確保事業

01 町田市介護人材バンク

開始して5年度目となるアクティブシニアを対象とした無料職業紹介（旧：アクティブシニア介護人材バンク）と、2017年度に開始して4年度目となる有料職業紹介を今年度より「町田市介護人材バンク」として一体的に実施した。

有料職業紹介の求職登録者数は6名で、そのうち就労に至ったのは1名であった。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、介護・福祉ミニ面接会がしばらく中止となり、当初は事務所での相談も控えていたため、前年度より6割減となった。当バンクを訪れる求職者はそれぞれに様々な事情を抱えた方が多く、その中で常勤として就労可能な有資格で且つ経験のある求職登録者の確保は厳しい現状である。

また今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、新たな求職者を受入れることを控える法人も多かった。有料職業紹介では、夜勤ができる常勤職員の紹介を希望される法人の比率が高く、非常勤職員の有料職業紹介での受入れは難しいケースが多かつ

た。人材確保に対して有料職業紹介を積極的に活用する法人と消極的な法人に分かれている。就労後も経過や定着を確認し、資格取得や非常勤職員から常勤職員への移行等の実績を積上げて行くことで認知度や受入れ実績を上げて行きたい。

アクティブシニアを主とする未経験無資格者を対象とする無料職業紹介では、特別講座以外にも出張求職相談登録会やセンター事業等の様々な機会に事業周知を行った結果、今年度は72名が求職登録した。ヒアリングは延べ356名に行い、丁寧なマッチングに努めた結果、20名が就労につながった。就労後も定着支援を目的としたインタビューを24件実施した。特にコロナ禍で直接の面談が難しい状況だったためオンライン相談に注力した。電話・メール・LINE トークを活用して、オンライン相談・インタビュー等の件数は延べ237件で、LINE登録者も年度中盤から開始して67名となった。

求人拡大するため、求人登録事業所への定期的な連絡のほか、ハローワークで行っているミニ面接会に参加した法人への周知、まちいきヘルパー養成研修や介護の入門的研修で実施した相談面接会等での新たな求人依頼、就労者インタビューから得た求人情報等の活用により、334件の求人登録を得ることができた。求人登録数の増加は求職者にとっては選択の幅が広がり、介護施設での人材確保の一端を補うことにつながった。

- ① 求職登録相談会（毎月各地域の市民センター等にて10回実施）
- ② 市民向け各研修での相談コーナーの設置、就労相談会の実施
 - ・ 女性の仕事応援セミナー（2回）
 - ・ 介護の入門的研修での就労相談会（2回）
 - ・ まちいきヘルパー養成研修での就労相談会（受託事業、2回）
- ③ 特別講座

新しい参加者や求職登録者の増加を目指して、アクティブシニア層が興味を持つテーマの特別講座を5回予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場で開催予定であった講座2回分を感染予防及び町田市介護人材バンクを紹介する内容のYouTube動画に変更した。公開1か月で179回の視聴と1名の登録につながった。アフターコロナを見据えての新たな取り組みとしての可能性を感じられた。会場での特別講座は緊急事態宣言解除後に3回開催し46名が参加した。参加者は登録者が9割で新たな参加者の開拓にはつながらなかったが、登録者のコロナ禍での現状の相談や就労者の状況把握につながった。新たな参加者の開拓を目指して今後の講座内容を再検討していきたい。

- ④ 町田市介護人材バンク通信

第18～22号を発行し、研修の案内、コロナ禍での新たな相談方法としてのオンライン相談の紹介や動画配信のお知らせ、新規ホームページのお知らせ等を記事として掲載し、情報提供の充実を図った。また、近況報告のお願いを掲載することで、登録者の状況把握、特にコロナによる退職・心理的不安等を聞き取る機会とした。

02 介護・福祉ミニ面接会

ハローワーク町田との共同面接会は当初、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月まで中止となった。10月から参加者を予約制、2部構成（定員15名／部）にして再開し6回実施した。100名（昨年度223名）の求職者が参加し、17名

(昨年度25名)が就労に至った。昨年度と比較すると参加者数は月平均4名減となったが就労者数の月平均は微増だった。ハローワーク町田の担当者と協力し、参加者数の増加を目指して画像や事業所マップでの施設紹介や求人事業所と求職者との連絡先の交換等を取入れた結果、下半期で求職者が倍増した。介護分野に特化した定例の面接会は近隣ハローワークの中でも唯一であるため、今後もハローワーク町田と連携して参加者を増やしていきたい。

03 地域密着型就職面接会・福祉のしごと相談面接会（協力）

町田市社会福祉協議会の「福祉のしごと相談会」に協力・後援し、採用機会の確保に努めた。昨年度より19名少ない72名の参加者数であった。町田市で参加できる福祉（高齢・児童・障がい）の面接会であることが参加のきっかけになっている。

ハローワークとの共催であることから、求職活動の一環として来場した参加者もあったと考える。東京都社会福祉協議会と共催で実施していることから都内全域に周知されており、町田市内29名、市外9名と幅広い地域から参加があったが約半数が未記入でどの地域からの参加か不明だった。当センターは「相談コーナー」を設置し3名の相談に対応したがコロナ禍なので積極的な声掛けは中止した。

04 外国人向け日本語学習支援

コロナ禍となり教室での開催が困難となったため、5月よりオンライン（Zoom）で開催し、年間33回実施することができた。累計参加者数は221名、1回以上参加した人数は12名で6か国（出身国）からの参加があった。大半の参加者が継続して参加したことは、講師の丁寧な指導と少人数での学習により、ピア・ラーニングができて学習意欲の向上につながったことが要因と考える。就労人数は2名でそれぞれ町田市内の特別養護老人ホームに就労した。

また、「海外の介護を目指す学生と町田市の介護施設とのオンライン交流会」を実施し、海外の5か国の日本語学校と町田市内9施設をオンラインで繋いで交流を図った。相模原市からも視察があり105名の参加となった。

05 小学生向け講座「まちけあキッズ」

夏休みに町田市内5か所の子どもセンターにて開催。95名の小学生が参加。介護施設の協力も得て介護福祉士・看護師・栄養士等の専門職の仕事や福祉用具・機器を体験した。昨年度に続いて参加した子どもも数人おり、そのなかで5か所すべてに参加してくれた子どもが1名だった。参加した子どもたちの満足度は高かった。コロナ禍での開催だったが、健康状態の悪化等報告や事故もなく無事に終了することができた。

06 町田市内における介護職員初任者研修開催状況の情報提供

年6回実施。この情報から受講された方もあった。無資格で介護職員として働いている方や、これから介護職員として働くことを目指している方にとって、資格取得のための情報提供として一役を担うことができたと考える。

07 町田市内養成校卒業生就職状況調査

市内大学・専門学校など6校に依頼し全学校の回答を得た。卒業した学生のうち福祉関係に就職したのは、4.2%であった。昨年の4.7%からは減少となった。

介護関係施設・事業所に就職した114名のうち、町田市内での就職は12名と前年度と同人数であったが、引き続き市内にある学校から一人でも多く、市内に就職できる環境整備が必要である。

08 町田市介護保険事業所介護職員雇用動向基礎調査

介護職員がいる事業所330事業所にアンケートを実施。回答率は49.4%。今回の調査で、訪問介護員が実質的に縮小傾向に入ったことが明らかとなった。この傾向が続くと、事業所閉鎖やサービス提供の縮小が進み、ますます施設依存が進むと予測される。介護職員の定着に向けた働きやすい職場環境の改善に本格的に取り組まなければならない危機的な状況にあると思われる。それは採用活動よりも法人や事業所全体の在り方を大きく変える総合的な取組みであり、短期間に成果が出るものではないように思われる。法人内や事業所内だけでは視野が狭くなるので、他法人と連携しオール町田で共通の課題に取り組むことも必要ではないか。

外国人介護職員の雇用について、技能実習生等制度の難しさを考慮すると、現実的な可能性としては配偶者等の在留資格と留学生にあるように思える。日本語教室の実施等町田での生活や仕事のし易い環境を整備することが長期的な視点で雇用拡大につながると考えられる。

介護人材バンクに関する調査結果からアクティブシニアの雇用拡大は、やはり事業所の受入れ態勢の整備と比例しているように考えられる。事業所内で多様な働き手にあったマネジメント職員を配置する等の環境整備が必要である。求職意欲のあるアクティブシニアは、今後増加すると予測されるのでマッチングの幅を広げるためにも介護業務の周辺の業務の切り分け等の仕組み作りを事業所とともに取り組んでいくことが求められている。この課題についても、前述の通り他法人と連携して取り組むことが効果的と考えられる。

09 「まちけあ★ジョブ」アプリの制作とホームページの求人求職情報の拡充

年度当初より就労支援を目的にホームページの求人求職情報の拡充とアプリの制作のために制作会社と打ち合わせを重ね、年度末に公開することができた。次年度は周知に力を入れ、より多くの求職者や求人事業所に活用していただくことで介護保険関係事業所への就労支援に繋げていきたい。

(2) 人材育成事業

10 出張訪問研修

感染防止の観点から施設でも来訪制限があり依頼は1件にとどまり、オンライン研修となった。実施内容は「ご家族対応、クレーム対応のスキルを身につける」だった。オンラインでも研修ができることやリーフレットの内容も工夫し積極的に案内していきたい。

11 入門的研修

「介護の入門的研修」1回21時間コースの研修を実施。

第1回 10月1日～29日、5日間実施

参加者30名 修了者28名 就労者1名

前年度の第2回目が途中で中止となったため21名が再受講となった。

第2回 1月22日～2月19日、5日間のうち第1～2日目実施

参加者31名 修了者25名

各回、研修最終日に修了式と就職相談会を実施した。

12 まちいきヘルパー養成研修業務 【高齢者福祉課受託事業】

1回20時間コース（1日5時間を4日間）の研修を1回実施した。訪問介護事業所を対象として実施したアンケート結果から定員を30名とし受講者を募集したところ35名の申込みがあった。そのうち入門的研修の受講生が13名で入門的研修とまちいきヘルパー養成研修を続けて受講する方が多い。最終的な参加者数は30名となり28名が修了した。最終日に就労相談会を実施し、「まちいきヘルパー」として3名が事業所に採用された。また、これまでの修了生を対象としたフォローアップ研修を1回実施した。緊急事態宣言下での開催になったこともあり、欠席者が多く参加者数は4名にとどまった。

13 法令遵守・運営基準・法改正研修

町田市介護保険課共催研修として各連絡会別にオンラインで開催した。合計で5回、延べ145名の参加を得た。各連絡会によって参加人数にばらつきがあるが、プランニングを担当する支援センター・ケアマネジャーに対しては基本的にどの研修にも参加を呼びかけて各サービスや職種の理解を深めていくための研修としても位置づけている。オンライン開催だったため会場開催より多職種・同職種の連携というイメージが作りづらかったが、グループワークもできて好評だった。市内各事業所が適正なサービスを提供していくためにも、今後も町田市と連携して実施していく必要がある。

14・15 相談援助研修 初級編・上級編

町田市介護保険課共催研修「相談援助研修」は、当初より開催日程を遅らせてオンラインで開催した。初級編は、全3回で延べ135名（昨年度213名）、上級編は全5回で延べ199名（昨年度318名）が参加したが双方の研修で定員を下回ることとなった。主任ケアマネジャー推薦要件研修の位置づけであったが更新の時期も延長になったことやオンラインに不慣れな点もあったのではないかと考えられる。初級編も上級編も高評価を得られたことは意識の向上につながったと考えられる。

16 女性の仕事応援セミナー

介護や介護の仕事に興味がある方、再就職を考えている方を対象に、女性に関心を持ちそうなテーマでセミナーを実施し、介護人材バンクの紹介も行った。第1回は「プロから学ぶ 自宅でできるセルフハンドケア」をテーマとして22名、第2回は「ライフ&マネープランから考える」をテーマに7名の参加が得られた。

17 介護職員基礎講座

介護サービスを提供するにあたり、必要な基本姿勢、理解、条件、介護サービスの実践ルートを学ぶことを目的にオンラインで開催した。参加者は12名でオンラインでの研修を開始したばかりだったこともあって予定していた参加者数が得られなかった。

18 介護への応援メッセージ（ビデオメッセージ）作成

「合同入職式」の代替として実施した。施設より5人の新入職職員が参加しインタビュー形式で町田市長と対話し、町田市長より労いと励ましのメッセージをいただいた。録画を編集し一定期間YouTubeと当センターのホームページで動画の配信を実施した。合わせて891回の閲覧回数となった。

19 レクリエーション研修

講師との調整が合わず中止となった。

20 町田市認定調査員研修事務業務 【介護保険課受託事業】

- ・新規研修：年3回 新任調査員を対象とした研修を町田市役所にて実施した。
延べ24名参加。前年度より回数は1回増えたが19名減となった。
- ・フォローアップ研修：年6回、市役所会議室・オンライン等で実施。
延べ88名参加。昨年度より43名減となる。
 - ① 2020年度新規受講生を対象に5回実施した。内容は「調査時の聞き取り方と正しい選択」、「事例 分かり易い特記事項」、「eラーニング」で22名の参加があった。
 - ② 全認定調査員対象に1回実施した。内容は「定義と選択基準の確認・正しい選択」、「模擬審査会」で66名の参加があった。
- ・内部研修：年1回 町田市認定調査員、事務受託法人の認定調査員を対象として、事前にアンケートをとり、3者が共通した認識で調査に臨めるよう取り組んだ。33名参加。
- ・現任研修：年2回 町田市内の全受託法人の認定調査員を対象として「買い物の定義」と「留意点」をテーマに日中（参加者100名）と夜間（参加者49名）の2回開催した。講師は八王子市の事務受託法人に依頼した。研修参加者からは大変高評価を得られた。町田市とも企画から検討し、町田市の認定調査員のレベルアップを図る研修事業を実施することができた。

21 プレゼンテーション研修

プレゼンテーションに強くなり、自法人の良いところを表現できるように「イエスと言ってもらえるプレゼンテーション」というテーマで実施した。参加者は4名だった。

22 口腔機能向上研修 → 感染症対策研修

町田市からの要請で地域密着型サービスにおける「加算」をテーマに開催する予定だったが「感染症対策」をテーマに高齢者福祉課・保健所の協力を得て、コロナ発生の事業所の対応や行政との連携方法等について、町田市保健所の応援勤務にあたる保健師から事前に寄せられた質問への回答を交えながら講義をした。募集開始後すぐに定員を超えたため、町田市と協議して定員を増やした結果119名の参加が得られた。

23 業務効率化・生産性向上研修

介護分野における生産性向上の取組みとこれからの展開をテーマにオンラインで実

施した。厚生労働省「介護サービス事業における生産性向上に資するガイドライン（施設サービス分）」の作成を受託し、取り纏めに当たられた吉田俊之先生をお招きし、厚生労働省が考える「介護分野の生産性向上」、「具体的な実践事例」等を学んだ。32名の参加が得られた。

24 接遇・マナー研修

社会人としての接遇・マナー、信頼される介護職員のための接遇・マナーをテーマにオンラインで実施した。当初の研修の対象としていた新人職員の参加がなかったことから案内方法等の見直しが必要であるとする。学び直しや事業所の質向上のための参加者が多いことから、この研修内容自体は必要性が高く継続的な開催が必要と考えられた。17名の参加が得られた。

25 主として市民を対象とした講習会・セミナー等が集合型で開催できなかった場合、オンライン（Youtube）に変更して実施する予定であったが、市民向けの講習会等は町田市の協力のもと、全て実施することができた。

（3）就労継続支援事業

26 第14回町田市医療・介護・福祉研究大会「アクティブ福祉 in 町田'20」

アクティブ福祉 in 町田は14年目を迎えた。今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から会場での開催を中止とし、発表動画を募集したところ11題の発表申込があり、オンラインで審査を行い各賞の受賞題を決定した。会場での交流や福祉用具の展示等ができなかったことは残念であるが、発表者も工夫をして動画を作成していた。期間を定めずYouTubeに動画を公表し合計1345回の閲覧回数が確認でき、多くの方に視聴されたようだ。当日冊子は例年、会場来場者に販売していたが、今年度は会場開催ができなかったため、会員事業所へ郵送で配布した。これまで参加したことがなかった事業所への周知もできて良かった。次年度以降の参加に期待したい。「介護川柳」は市民・介護事業所等から98題の応募があった。昨年は133題の応募であった。審査は町田福祉保育専門学校の学生と市役所職員の投票で金・銀・銅賞を選び、ホームページで公表した。

27 介護福祉士国家試験受験対策直前講座（筆記編）

5名の参加があった。受験勉強の振り返り、科目ごとの内容把握、出題基準の確認を行った。受験対策のための学習にとどまらず、試験会場に向かうときの心構えや講師の体験を交えた講義となり参加者からとても好評であった。合格発表後、2名の参加者から合格の知らせが届いた。

28 介護カフェ「医療介護義塾まちけあ」

介護職員等が自施設を離れて自由に集う環境を提供し、多様な参加者とのピア・ラーニングや意見交換を通して相互のモチベーションアップやスキルアップにつながる活動を行った。介護職員や看護師等の現任職員が幹事となり、現場の悩みや課題をテーマとした研修会を幹事自らが講師となり企画運営した。今年度は「コロナの今を共有する～自粛の先の過ごし方～」、「モチベーションアップの方法～今いる場所で輝く

ために～」をテーマとして2回研修会を実施し延べ11名の参加があった。また、アクティブ福祉in町田でも日頃の取組みや活動について発表し優秀賞（地域部門）を受賞した。

29 サ責カフェ

サービス提供責任者が、職場を離れて自由に集える場所を提供し、職務遂行にあたり「いまさら聞けない」初歩的な法令や運営基準等を再学習することで自信につながられた。5月からオンラインで毎月実施し、「サ責カフェ」と「町田市訪問介護事業者協議会」が共同で「感染症対策マニュアル」を作成できたことは良かった。訪問介護に限らず訪問看護や訪問マッサージの事業所等からの参加もあり、感染防止への取組み等の情報交換ができた。

30 オンラインカフェ

各職種別に連絡会の組織がない職種の横の連携を作るために実施したが、参加者は一定の法人に限られ、多くても3法人、少ないときは1法人となり、連携づくりのための開催とはならなかったと考える。人材確保では各法人の採用担当者も苦勞されていることを聞いており、効果的な方法等の情報交換ができればと考えた。結果的に参加者は少数にとどまったが参加した法人は様々な情報交換ができたと考える。

31 まちけあ★トーク、アプリ制作とウェブサイト開発

年度当初よりホームページのリニューアルと合わせて、開発会社との打合せを重ねて年度末に公開できた。今後、幅広く周知を行い、介護保険関係団体や市民からの介護に関する情報交換・意見交換の場として就労意欲の向上や支援にも活用していきたい。

(4) その他受託事業

31 町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト事務局事務委託事業

【高齢者福祉課受託事業】

年3回の定例協議会、年2回の多職種連携研修会の事務局事務を高齢者福祉課等と連携して実施した。主に運営に係る連絡調整事務のほか、協議会に関する啓蒙活動を実施した。

32 要介護認定調査業務 【介護保険課受託事業】

コロナ禍で認定調査を受けることに慎重な高齢者もいたことや臨時的な取扱いが適用されたため、年度当初の受託件数は前年比を大幅に下回ったが、徐々に回復し、年間の受託件数は1098件となった。

33 まちだ互近助クラブ代表者向け研修業務 【高齢者福祉課受託事業】

町田市介護予防・日常生活支援総合事業における「地域活動団体型サービス」を実施するまちだ互近助クラブの代表者に対して、サービス提供にあたって必要となる知識や注意事項に関する研修を実施した。今年度は、年2回開催し、第1回目は7団体7名、第2回目は4団体7名の参加があった。第2回目はオンラインで実施した。

34 介護サービス相談員連絡会業務 【介護保険課受託事業】

町田市内介護保険施設に派遣される介護サービス相談員の連絡会事務を受託しているが、コロナ禍で介護サービス相談員の派遣も中止となった。11月から老健1施設への訪問が再開されたが、ガラス越しでの携帯電話による面談となった。訪問ができないなかで連絡会の開催も年3回となった。

(5) ネットワーク促進事業（法人事業）

35～39 会員総会、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会、委員会

会員総会を除き、理事会、運営委員会、ネットワークサポート委員会はオンラインで実施した。昨年度末に委員会として「町田市人材確保戦略会議」を立上げた。7月よりオンラインにて幹事会、3つのプロジェクト（離職防止・定着促進・人材確保、外国人材の確保・定着（町田市国際ケア人材サポート会議）、ホームページ・アプリの開発）を進めた。外国人材の確保・定着（町田市国際ケア人材サポート会議）プロジェクトでは、国際交流センター、日東国際学院（市内の日本語学校）の協力を得て「海外の介護を目指す学生と町田市の介護施設とのオンライン交流会」を企画し、人材確保事業・日本語学習支援での実施に協力した（参照 04 外国人向け日本語学習支援）。

40 町田市高齢者福祉施設部会・生活相談員部会

特養の特例入所指針見直しや医療処置対応一覧作成等に取り組んだ。新型コロナウイルスに関して各施設の対策や課題をメールで情報交換することができた。年間を通してオンライン開催となった。

41 町田市通所事業所連絡会

連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、各部会の調整やオンラインでの実施に取り組んだ。新型コロナウイルスに関して各事業所の対策や課題をメールで情報交換することができた。連絡会主導の「合同運営推進会議」を開催した。

42 町田市福祉用具事業所連絡会

連絡会活動の支援や事業所プロフィールシートの取りまとめ、オンラインでの連絡会実施に取り組んだ。アクティブ福祉 in 町田が会場での開催を中止としたため福祉用具の展示はできなかった。住宅改修研修会では福祉用具の貸出で協力した。

43 町田市訪問看護ステーション連絡会

連絡会活動の支援や「情報誌」の取りまとめ、調整やオンラインでの実施に取り組んだ。

44 町田市有料老人ホーム連絡協議会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

45 町田市訪問マッサージ連絡会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施に取り組んだ。

46 町田市グループホーム連絡会

連絡会活動の支援や取りまとめ、調整等オンラインでの実施を提案したが、連絡会としての活動を支援できなかった。

47 町田市老人保健施設相談員意見交換会

町田市や老健の担当者と調整ができず開催に至らなかった。人材連携事業においては事務長と話せる機会もあり、事務局の会ができるのではと助言もいただいたことから今後の開催に向けて準備していきたい。

48 町田市内の事業種別連絡会との連携及び組織化への支援

- ・町田市ケアマネジャー連絡会は、研修会にオンラインのホストとして支援した。
- ・町田市訪問介護事業者協議会は、次年度事務局を依頼される予定もあり、年間を通して理事会等のオンラインのホストを行い参加した。
- ・町田市小規模多機能連絡会では、コロナウイルス感染防止により連携する機会がなかった。

49 医療介護交流会

町田市内の医療・介護保険関係事業所と行政等との交流会を町プロ「多職種連携研修会」で2回、「アクティブ福祉」で開催を予定していたが全て中止とした。

50・51 会員事業所への情報提供、センター事業等の広報活動

行政、医療機関、関係団体等の情報をメールで随時配信した。また、K J K C 通信（町田市介護人材開発センター通信）、Facebook や instagram 等 SNS を通じてセンター事業の紹介を行った。

52 一般社団法人グランハートでの「地域ケア会議」への参加、協働

運営会議がオンライン開催となり、地域ケア会議は開催されなかった。

53 TV会議システムの活用

TV会議システムに変わるオンライン方法により行政や各種団体からの要請によりホストとして開催を支援した。

※ 各事業の詳細は、別紙「2020年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数」参照

【会員組織・事務局】

- ・町田市高齢者福祉施設部会－生活相談員連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会

- ・町田市有料老人ホーム連絡協議会（旧 町田市特定施設事業所連絡会）
- ・町田市訪問マッサージ連絡会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市老人保健施設相談員意見交換会

【運営委員会・委員推薦団体】

- ・町田市高齢者福祉施設部会
- ・町田市介護老人保健施設
- ・町田市ケアマネジャー連絡会
- ・町田市通所事業所連絡会
- ・町田市訪問介護事業者協議会
- ・町田市グループホーム連絡会
- ・町田市訪問看護ステーション連絡会
- ・町田市社会福祉協議会
- ・町田社会福祉士会
- ・東京都介護福祉士会町田市介護福祉士会
- ・町田市福祉用具事業所連絡会
- ・町田市有料老人ホーム連絡協議会
- ・町田市訪問マッサージ連絡会

【推薦委員を派遣している外部委員会】

1	町田市高齢社会総合計画審議会	西嶋 公子（ケアセンター成瀬・暖家）
2	町田市地域密着型サービス運営委員会	木口 圭子（清風園）
3	町田市高齢者支援センター運営協議会	小室 貴之（楓の風）
4	町田市介護保険苦情相談調整会議・介護苦情解決専門員	高橋 良彰（サルビア）
5	町田市高齢者虐待防止連絡協議会	河野 一平（悠々園）
6	町田市老人ホーム入所判定委員会	加藤千恵子（合掌苑） 保坂 健久（福音の家）
7	町田市中学生職場体験推進協議会	多田 周史
8	町田市社会福祉協議会評議員	多田 周史
9	町田市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会	菊池 明仁（レガメ町田）
10	町田市社会福祉協議会共同募金配分推薦委員会	朝妻 卓也（かりん・町田）
11	町田市支えあい連絡会（生活支援コーディネーター）	石原 正義

2020年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2021/3/31 現在

No.1

事業種別	内容												合計	2019年度実績	前年比		
	01	02	03	04	05	10	11	12	1月	2月	3月	3月					
介護人材バンク	01	介護の仕事相談・求職登録会(年10回)	4/22	5/16	6/24	7/29	8/22	9/23	10/28	11/21	12/23	1/27	2/20	3/24	33	33	0
		特別講座(年5回 Youtubeを活用した講座2回、会場開催3回)	-	-	-	動画配信2本 9/15~10/15	講座 97	82	15	10/23	12/4	2/26	20	2	2	1	0
人材確保事業	01	介護人材バンク	参加者数	-	-	2	4	2	4	4	4	2	5	2	33	33	0
			就労人数	-	-	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0
介護人材バンク	01	特別講座(年5回 Youtubeを活用した講座2回、会場開催3回)	参加者数	-	-	-	97	82	15	10/23	12/4	2/26	20	2	225	85	140
			就労人数	4	0	1	1	2	1	1	6	1	0	3	20	30	-10
人材確保事業	01	オンライン相談 ※新規	新規利用者数	-	-	14	6	10	11	11	5	6	3	5	67	0	67
			ヒアリング数	-	-	9	14	9	8	23	12	11	5	2	98	0	98
人材確保事業	02	ハローワーク町田での就労相談面接会(年6回、10~3月)	参加者数	4/15	5/13	6/17	7/15	なし	9/16	10/14	11/18	1/20	2/17	3/17	100	223	-123
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	17	16	17	17	25	17	25
人材確保事業	03	町田市社会福祉協議会主催(協力)	参加者数	-	-	-	-	9/12	72	72	72	72	72	72	72	91	-19
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人材確保事業	04	外国人向け日本語学習支援	参加者数	-	12	17	24	23	24	17	18	18	26	23	221	56	165
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	2	3
人材確保事業	05	小学生向け講座「まもけあキッズ体験」	参加者数	-	-	-	-	8/3.5.10.16.20	95	95	95	95	95	95	95	129	129
			ボランティア(学生)	-	-	-	-	7(5)	7(5)	7(5)	7(5)	7(5)	7(5)	7(5)	7(5)	7	49
講師派遣	10	出張訪問研修	参加者数	-	-	-	-	-	-	-	11/20(ぬくもりの園)	-	-	-	-	-	-
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	22	-	-	-	-	22	78
多様な担い手	11	介護の入門的研修(年2回)	修了者数	-	-	-	-	-	10/1.8.15.22.19	1/22.29.2/5.12.19	-	-	-	-	53	26	27
			就労人数	-	-	-	-	-	28	2	25	2	-	-	4	3	1
介護保険課 主催	13	法令遵守・運営基準・法改正研修(年5回)	参加者数	-	-	-	-	CM 9/18	33	33	33	33	33	33	145	289	-144
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	-	54	58	58	58	145	289
相談援助	14	相談援助研修(初級編)	参加者数	-	-	-	-	9/7.16.30	135	135	135	135	135	135	135	213	-78
			就労人数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	135	213

2020年度町田市介護人材開発センター事業報告・参加者数

2021/3/31 現在

No.2

事業種別	内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	2019年度実績	前年比	
人材育成事業	多様な担い手	15 相談援助研修(上級編) 全5回						10/27 40	11/17 39	12/15 40	1/19 39	2/16 41		199	318	-119	
		16 女性の仕事応援セミナー 年2回						9/25 22				2/9 7		29	41	-12	
	分野・領域別	17 介護職員基礎講座 年1回 ※新任職員研修から変更						8/25 12							1	0	1
		18 介護への応援メッセージ(ビデオメッセージ)作成 年1回 町市長からVTRで応援コメントをいただき配信する。 ※合同入職式から変更							YouTube、HP閲覧数 891						12	20	-8
	リターナー育成	19 レクリエーション研修 ⇒ 中止											0	0	0	0	
	多職種連携	21 プレゼンテーション研修 年1回(4H) 定員:40名 講師:株式会社ツクイスタッフ							11/30 4						4	0	4
		22 感染症対策研修 年1回(2H) 定員:30名 オンライン 講師:高齢者福祉課											2/26 119		119	15	104
	研究発表会	23 業務効率化・生産性向上研修 年1回(2H) 定員:20名(会場)50名(オンライン) 健康福祉会館 講師:株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 戦略企画センター センター長 吉田 俊之 先生												3/3		0	32
		24 接遇・マナー研修 年1回(2部制、2H/部) 定員:30名 町商工会議所または市民フォーラム、富田静江氏(登録講師)						8/7 17							17	0	17
		26 アクティブ福祉in町田'20 オンライン発表会、介護川柳								閲覧数 1345					1345	467	878
	資格取得	27 介護福祉士国家試験直前講座 筆記編 年1回							11/28 5						5	9	-4
	就労継続	相互啓発	28 介護カフェ 月1回	5/15 5	6/19 4	7/17 6	8/21 5	9/18 4	10/16 3	11/20 3	12/18 4	1/15 -	2/19 4	3/19 5	43	49	-6
			29 サザカフェ 月1回	中止	5/20 6	6/18 18	7/15 14	8/19 13	9/16 12	10/21 8	11/25 8	12/23 9	1/13 15	2/17 13	3/24 9	125	90
		相互啓発	30 オンラインカフェ 月1回						9/15 4	10/13 4	11/10 0	12/8 1	1/20 3	2/8 3	18	0	18

※アクティブ福祉in町田のみ参加者総数、その他は参加実人数です。

2020年度 収支報告書(案)(総括表)
自:2020年4月1日 至:2021年3月31日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

《収入の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考	
町田市補助金収入		29,320,000	29,320,000	0	センター事業、人材バンク事業	
センター事業収入	参加費収入	307,000	369,500	△ 62,500	研修などの参加費(資料代含む)	
	広告料収入	140,000	140,000	0	アクティブ福祉in町田 当日冊子への掲載	
	手数料収入	285,542	600,000	△ 314,458	人材バンク職業紹介手数料	
	計	30,052,542	30,429,500	△ 376,958		
法人収入	会費収入	5,091,000	5,000,000	91,000	正会員会費 405事業所	
	受託収入(町田市等)		2,647,181	2,647,181	0	町田・安心して暮らせるまちづくりプロジェクト推進協議会事務局事務
			9,058,500	12,375,000	△ 3,316,500	町田市要介護認定調査業務
			1,699,280	1,387,500	311,780	町田市要介護認定調査員現任研修事務局事務
			2,075,348	2,075,348	0	まちいきヘルパー養成研修業務
			173,000	173,000	0	まちだ互近助クラブ代表者研修業務
			179,713	499,609	△ 319,896	介護サービス相談員事業業務
	計	15,833,022	19,157,638	△ 3,324,616		
	その他受託収入	0	0	0		
	その他事業収入	0	0	0		
	交流会参加費収入	0	0	0		
	受取利息収入	113	0	113	受取利息	
	受託事業振替収入	0	500,000	△ 500,000		
雑収入	3,415,730	2,000,000	1,415,730	給付金など		
計	24,339,865	26,657,638	△ 2,317,773			
収入計①		54,392,407	57,087,138	△ 2,694,731		
投資活動収入②	車両運搬具売却収入	130,000		0	軽自動車	

《支出の部》

大区分	中区分	決算額	予算額	差額	備考
管理費支出		197,945	200,172	△ 2,227	役員報酬等
事業費支出		50,882,732	56,025,889	△ 5,143,157	
	人材確保事業費	15,952,770	16,400,791	△ 448,021	介護人材バンク(面接会、まちあきキッズ、調査、職業紹介)、日本語学習支援
	人材育成事業費	7,086,613	6,783,810	302,803	研修(職員・市民)
	就労継続支援事業費	7,707,903	7,653,198	54,705	アクティブ福祉、介護カフェ、サ責カフェ
	ネットワーク促進事業費	5,842,527	7,739,270	△ 1,896,743	理事会、総会、連絡会等、法人税、市都民税、消費税含む
	受託事業費	14,292,919	16,948,820	△ 2,655,901	町田市受託業務
	ネットワーク促進事業振替支出		500,000	△ 500,000	
支出計③		51,080,677	56,226,061	△ 5,145,384	
予備費⑤			861,077	△ 861,077	
投資活動支出⑥		0	0	0	
什器備品		0	0	0	
敷金支出		0	0	0	
当期収支差額 (①+②)-(③+④+⑤+⑥)		3,441,730	0	3,311,730	
前期繰越収支差額		9,519,611		9,519,611	
次期繰越収支差額		12,961,341		12,961,341	

※参考(事務局経費)

	決算額	予算額	差額	備考
人件費	28,144,659	31,337,120	△ 3,192,461	常勤9名、嘱託1名、非常勤15名(3月末付)
経費	11,846,970	9,845,645	2,001,325	
合計	39,991,629	41,182,765	△ 1,191,136	

決 算 報 告 書

(第 9 期)

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
会費収入	5,091,000	3,651,800	1,439,200
正会員受取会費	5,091,000	3,645,800	1,445,200
賛助会員受取会費		6,000	△6,000
事業収入	16,565,564	33,836,026	△17,270,462
参加費収益	307,000	2,280,100	△1,973,100
広告費収益	140,000	410,000	△270,000
町田市受託収益	15,833,022	30,870,191	△15,037,169
その他の受託収益		40,950	△40,950
その他事業収益		30,185	△30,185
手数料収益	285,542	204,600	80,942
受取補助金等	29,320,000	18,000,000	11,320,000
受取地方公共団体補助金	29,320,000	18,000,000	11,320,000
雑収益	3,415,843	116	3,415,727
受取利息	113	116	△3
雑収益	3,415,730		3,415,730
他会計からの繰入額	0	500,000	△500,000
受託事業会計からの繰入額		500,000	△500,000
經常収益計	54,392,407	55,987,942	△1,595,535
經常費用			
事業費	44,227,065	52,228,052	△8,000,987
給料手当	23,876,176	33,937,289	△10,061,113
通勤手当	602,450	1,093,294	△490,844
福利厚生費	72,546	194,112	△121,566
旅費交通費	8,666	24,491	△15,825
通信運搬費	1,238,645	1,346,322	△107,677
消耗品費	1,154,032	590,378	563,654
広告宣伝費	371,418	589,410	△217,992
印刷製本費	418,542	1,219,591	△801,049
保険料	30,000	31,000	△1,000
光熱水料	299,098	303,345	△4,247
賃貸借料	3,826,558	3,834,822	△8,264
会場借上料	438,940	605,815	△166,875
諸謝金	2,176,179	1,808,438	367,741
租税公課	30,250	51,650	△21,400
法定福利費	3,593,487	4,012,218	△418,731
車両託	365,151	629,904	△264,753
委託費	5,331,756	628,360	4,703,396
雑費	393,171	1,327,613	△934,442
管理費	1,681,089	3,603,256	△1,922,167
役員報酬	197,945	173,448	24,497
会議費	16,801	106,721	△89,920
通信運搬費	195,895	191,405	4,490
減価償却費	100,827	1,296,820	△1,195,993
消耗品費	1,149	72,162	△71,013
印刷製本費	127,926		127,926
賃借料	24,156	23,716	440
会場借上料	20,900	18,580	2,320
租税公課	759,350	1,353,300	△593,950
諸会費	77,000	72,500	4,500
雑費	159,140	294,604	△135,464
他会計への繰出額	0	500,000	△500,000

正味財産増減計算書

令和 2年 4月 1日から令和 3年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

（単位：円）

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
ネットワーク会計への繰出額		500,000	△500,000
経 常 費 用 計	45,908,154	56,331,308	△10,423,154
評価損益等調整前当期経常増減額	8,484,253	△343,366	8,827,619
評 価 損 益 等 計	0	0	0
当期経常増減額	8,484,253	△343,366	8,827,619
経 常 外 増 減 の 部			
経 常 外 収 益			
固 定 資 産 売 却 益	129,999	0	129,999
車 両 運 搬 具 売 却 益	129,999		129,999
経 常 外 収 益 計	129,999	0	129,999
経 常 外 費 用			
経 常 外 費 用 計	0	0	0
当期経常外増減額	129,999	0	129,999
税引前当期一般正味財産増減額	8,614,252	△343,366	8,957,618
法人税、住民税及び事業税	557,100	70,000	487,100
当期一般正味財産増減額	8,057,152	△413,366	8,470,518
一般正味財産期首残高	11,452,195	11,865,561	△413,366
一般正味財産期末残高	19,509,347	11,452,195	8,057,152
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,509,347	11,452,195	8,057,152

貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
事業名：事業全体

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
流 動 資 産			
現 金 預 金	21,012,046	7,195,764	13,816,282
現 金	18,211	16,117	2,094
普 通 預 金	20,993,835	7,179,647	13,814,188
未 収 金	2,626,987	5,170,155	△2,543,168
仮 払 金	512,478	311,878	200,600
仮 払 金		3,756	△3,756
流動資産合計	24,151,511	12,681,553	11,469,958
固 定 資 産			
そ の 他 固 定 資 産			
設 備 造 作	1	1	
車 両 運 搬 具	1	2	△1
什 器 備 品	88,903	111,127	△22,224
敷 金	1,324,800	1,324,800	
ソ フ ト ウ ェ ア	4,637,647		4,637,647
その他固定資産合計	6,051,352	1,435,930	4,615,422
固定資産合計	6,051,352	1,435,930	4,615,422
資産合計	30,202,863	14,117,483	16,085,380
II 負 債 の 部			
流 動 負 債			
未 払 金	8,942,913	271,212	8,671,701
前 受 金	1,033,800	1,161,200	△127,400
預 り 金	84,203	293,476	△209,273
未 払 消 費 税 等	75,500	869,400	△793,900
未 払 法 人 税 等	557,100	70,000	487,100
流動負債合計	10,693,516	2,665,288	8,028,228
負債合計	10,693,516	2,665,288	8,028,228
III 正 味 財 産 の 部			
一 般 正 味 財 産	19,509,347	11,452,195	8,057,152
正 味 財 産 合 計	19,509,347	11,452,195	8,057,152
負債及び正味財産合計	30,202,863	14,117,483	16,085,380

財 産 目 録

令和 3 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

(単位： 円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	18,211
普通預金	ゆうちょ銀行	運転資金として	14,872,318
	きらぼし銀行	運転資金として	6,121,517
未収金	受託費	町田市 認定調査3月分他	2,626,987
前払金	4月分家賃、共益費	家賃、会場代、広告掲載費	512,478
立替金	会費	研修懇親会費の立替	
仮払金	未精算分	仮払精算分残	
流動資産合計			24,151,511
(固定資産)			
その他固定資産			
設備	パーティション	人材バンクで使用	1
車両運搬具			1
什器備品	システムサーバー他	管理業務で使用している	88,903
敷金	原町田3-14-1.山崎	事務所	1,324,800
保証金	新宿屋ビル(株)	駐車場リモートコントロール保証金	
ソフトウェア	まちけあジョブ他	人材確保、就労支援関連のアプリ	4,637,647
固定資産合計			6,051,352
資産合計			30,202,863
(流動負債)			
未払金	アプリ制作代金他	3月分経費の未払分	8,942,913
前受金	次年度会費収入	ネットワーク促進事業の会費	1,033,800
預り金	雇用保険料預り金	雇用保険料	84,203
未払消費税等			75,500
未払法人税等	法人税都民税市民税	町田市役所、八王子都税事務所	557,100
流動負債合計			10,693,516
負債合計			10,693,516
正味財産			19,509,347

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人町田市介護サービスネットワーク

事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年12月1日 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法（ただし、建物附属設備は定額法）を採用しています。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

（単位：円）


科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,213,154	3,124,251	88,903
車輛運搬具	595,000	594,999	1
建物附属設備	216,561	216,560	1
ソフトウェア	4,716,250	78,603	4,637,647
合 計	8,740,965	4,014,413	4,726,552

2020年度 監査報告書

2021年 5月 25日

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク
代表理事 多田 周史 殿

監事 谷 和久

監事 諫 山 英一 

1. 監査の実施概要

定款第25条に基づき、一般社団法人町田市介護サービスネットワークの2020年度（監査対象期間、2020年4月1日～2021年3月31日）の会計の状況について監査を行いました。

監査日時 2021年 5月 25日（火） 17:00～18:00
監査場所 グランハート町田 レンタルルームトマト

2. 監査意見

収支決算書、貸借対照表、及び関係書類について監査した結果、その内容は適正であると認めます。

以上の通り報告致します。

第3号議案

一般社団法人町田市介護サービスネットワーク定款の一部変更（案）

<議案説明>

定款第2条の主たる事務所について、これまで事務所所在地を明記しておりましたが、今後の利便性を考慮し、最小行政区画に変更することを提案いたします。

変更事項は以下の通りです。

(1) 一般社団法人町田市介護サービスネットワーク定款 変更（案）

条文		摘要
変更前	変更後	
(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を東京都町田市山崎町 2055番地2 C-111に置く。	(事務所) 第2条 この法人は、主たる事務所を東京都町田市に置く。	最小行政区画とする

(2) 施行時期 令和3年6月25日